

教員採用試験 無料公開セミナー

2024 夏の試験にまだ間に合う！

TACの学習法

1. TAC の本科生いろいろ
2. TAC の教職教養学習システム
3. TAC の人物試験学習システム
4. 一般教養・専門教養・県別対策も選べる
5. 万全な対策をしたい人向けのオプション講座
6. 学習についてのアドバイス

TAC 教員講座

講師：永平 一洋

1. TAC の本科生いろいろ

TAC の本科生は学習経験や志望校種によってぴったりのコースを選択できます。(全4種類)

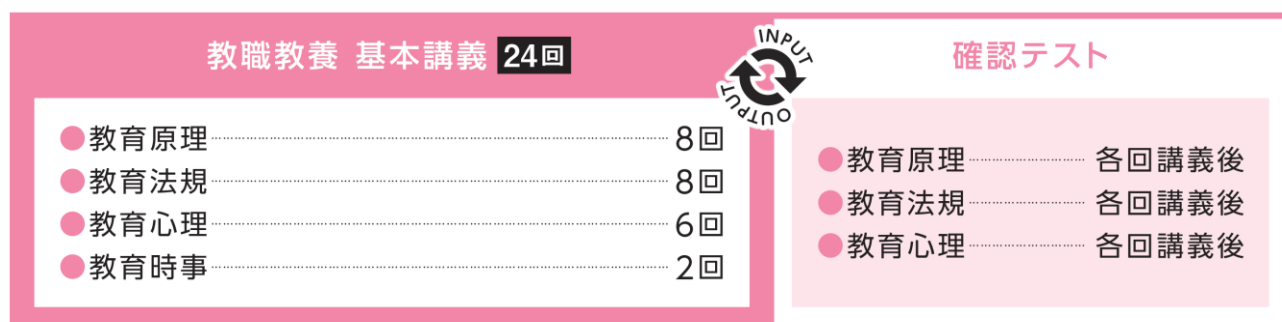
コース	特色	講義			実践	
		教職教養	論文対策	面接対策	論文添削	面接練習
速修本科生	総合コース	あり	標準	標準	全コース 共通	全コース 共通
人物本科生	人物試験 特化型コース	なし	標準	標準		
教職経験者本科生	人物試験 特化型コース	なし	なし	教職経験者専用		
養護ゼミ本科生	人物試験 特化型コース	なし	養護教諭専用	養護教諭専用		

講義時間 2.5時間/1回		※PLUS講義は1.5時間/1回です。		教職教養				人物試験				公開模試	
初學者向け	短期学習専用の総合コース 速修本科生・速修本科生PLUS	P16 講義回数 全34回 (PLUS生 全47回)	IN PUT	教育原理 (基本講義) 講義 8回	教育法規 (基本講義) 講義 8回	教育心理 (基本講義) 講義 6回	教育時事 (基本講義) 講義 2回	論文対策 講義 4回	面接対策 講義 6回	教職教養 (人物編) 講義 3回	論文 模範解説 講義 4回	面接 模範解説 講義 6回	PLUS生限定* PLUS講義は必要？ P14
	対象 大学生や社会人で初めて本格的に受験対策をされる方 校種 小学校・中学校・高校・特別支援		OUT PUT	確認テスト 各回講義後 即チャレンジ	確認テスト 各回講義後 即チャレンジ	確認テスト 各回講義後 即チャレンジ		論文添削 無制限	論文添削 Express (マンツーマン指導) 無制限	個人面接 実践 (マンツーマン指導) 無制限	集団面接・ 討論実践 (グループ指導) 無制限	模擬授業 実践 (マンツーマン指導) 無制限	公開模試 2024年4月 1回
初學者向け	論文・面接特化型コース 人物本科生・人物本科生PLUS	P18 講義回数 全12回 (PLUS生 全25回)	IN PUT				教育時事 (基本講義) 講義 2回	論文対策 講義 4回	面接対策 講義 6回	教職教養 (人物編) 講義 3回	論文 模範解説 講義 4回	面接 模範解説 講義 6回	PLUS生限定*
	対象 特別選考等で教職教養の試験が免除になる方 校種 小学校・中学校・高校・特別支援		OUT PUT					論文添削 無制限	論文添削 Express (マンツーマン指導) 無制限	個人面接 実践 (マンツーマン指導) 無制限	集団面接・ 討論実践 (グループ指導) 無制限	模擬授業 実践 (マンツーマン指導) 無制限	公開模試 2024年4月 1回

公開模試 1.5～2時間/1回		人物試験										公開模試				
学習経験者向け	実践重視の面接特化型コース 教職経験者本科生・ 教職経験者本科生PLUS	P20 講義回数 全10回 (PLUS生 全24回)	教職経験者向け講義						面接票・ 出願書類 講義 1回	教職教養 (人物編) 講義 3回	面接模範 解説 (教職経験者向け) 講義 6回	月1 オンライン サロン 講義 5回	➡ PLUS生限定	公開模試 2024年4月 1回		
			経験者向け オリエン 講義 1回	戦略的 教育時事 講義 3回	個人面接 ゼミ 講義 2回	場面指導 ゼミ 講義 1回	模擬授業 ゼミ 講義 1回	表現力 向上術 (話し方・筆記方) 講義 1回								
			個人面接 実践 (マンツーマン指導) 無制限	集団面接 ・討論実践 (グループ指導) 無制限	模擬授業 実践 (マンツーマン指導) 無制限	論文添削 Express (マンツーマン指導) 無制限										
対象 教員経験を面接で上手にアピールしたい方 校種 小学校・中学校・高校・特別支援 ※教職経験のない方は人物本科生をご検討ください。																
初學者向け	NEW 養護教諭専用の論文・面接特化型コース 養護ゼミ本科生	P22 講義回数 全21回	養護教諭向け講義						養護オンラインゼミ 担任制					オンラインゼミとは？ P31	公開模試 2024年4月 1回	
			オリエン テーション 講義 1回	学習指導 要領(総則) 講義 2回	教育時事 講義 2回	論文対策 講義 2回	面接対策 講義 3回	場面对応 講義 2回	模擬授業 ・指導案 講義 1回	養護 テーマ解説 講義 1回	論文対策 講義 2回	面接対策 講義 1回	場面对応 講義 1回	模擬授業 ・指導案 講義 2回		全体 質問会 講義 1回
			論文添削 無制限	論文添削 Express (マンツーマン指導) 無制限	個人面接 実践 (マンツーマン指導) 無制限	集団面接 ・討論実践 (グループ指導) 無制限	模擬授業 実践 (マンツーマン指導) 無制限									
対象 合格率の養護教諭の合格をめざす方 校種 養護																

2. TAC の教職教養学習システム

Point : 初学者でも短期間で高得点が狙える学習システム



(1) カリキュラム概要

⇒ POINT インプット・アウトプットが連動しています！

- ◆ インプット ⇒ とにかく短時間で学べる基本講義
- ◆ アウトプット ⇒ 無理なく得点力を高めるレベル別演習（ツールは4種類）

※アウトプットツール 4 種類の具体的な流れ

- ① 基本講義の復習 1 （ミニテスト）
- ↓
- ② 基本講義の復習 2 （確認テスト）
- ↓
- ③ 過去問演習 （WEB トレーニング）
- ↓
- ④ 実践訓練 （公開模試）

(2) カリキュラム詳細

◆インプット編 ⇒ とにかく短時間で学べる基本講義

<基本講義の特徴>

○全国の過去問を分析し、頻出分野だけをまとめたテキストを使用。

○頻出分野の中からさらに重要論点に絞ってコンパクトに解説。

○WEB 講義は TAC の大人気講師 鴨田拓先生 が担当。

⇒WEB 講義を見たい方は動画チャンネルへ

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kyoin/tacchannel.html

<基本講義を受講する際のコツ>

○WEB 講義は全本科生が見ることができます。隙間時間を活用しましょう。

○講義は全部で 24 回、1 日 1 コマを目途に間を空けず受講しましょう。

○講義は 原理⇒法規⇒心理⇒時事 の順で受講しましょう。

○予習は不要。復習はしっかりと。

<基本講義を学ぶ隠れたメリット>

○基本講義で学ぶ知識は、論文や面接対策の礎になります。そのため講義には教職知識の人物試験への応用方法が盛り込まれています。

⇒ 教職教養の対策をしながら、自然と人物試験対策も進む

◆ アウトプット編 ⇒ 無理なく得点力を高めるレベル別演習（ツールは4種類）

①基本講義の復習1（ミニテスト TAC web school にログイン）

解答時間：1回あたり5分

1問1答形式で**基本用語の復習**ができるテストです。**基本講義を受講したら、すぐに挑戦**してください。ミニテストで毎回満点を取ることを目標に、集中して講義を聞きましょう。

②基本講義の復習2（確認テスト TAC web school にログイン）

解答時間：1回あたり10分

ミニテストの次に取り組みます。基本講義に連動した形で1講義につき10問程度出題されます。基本講義で学習した内容が、本試験でどのように問われるのかを体験しながら、一気に知識の定着をはかることができます。解説講義付きです。

③過去問演習（WEBトレーニング TAC web school にログイン）

テキスト準拠の**自習用 WEB 問題集**です。基本講義の学習順に編成されています。様々な問題形式に触れたり、講義で取り扱わなかった細かな論点を確認したりできます。解答結果は TAC web school に記録されますので、間違えた問題は後でやり直しましょう。

誤答がなくなれば、本試験での高得点が期待できます。

④公開模試（実力判定）

最後は4月の公開模試を受験して実力判定をします。目標は8割以上です。

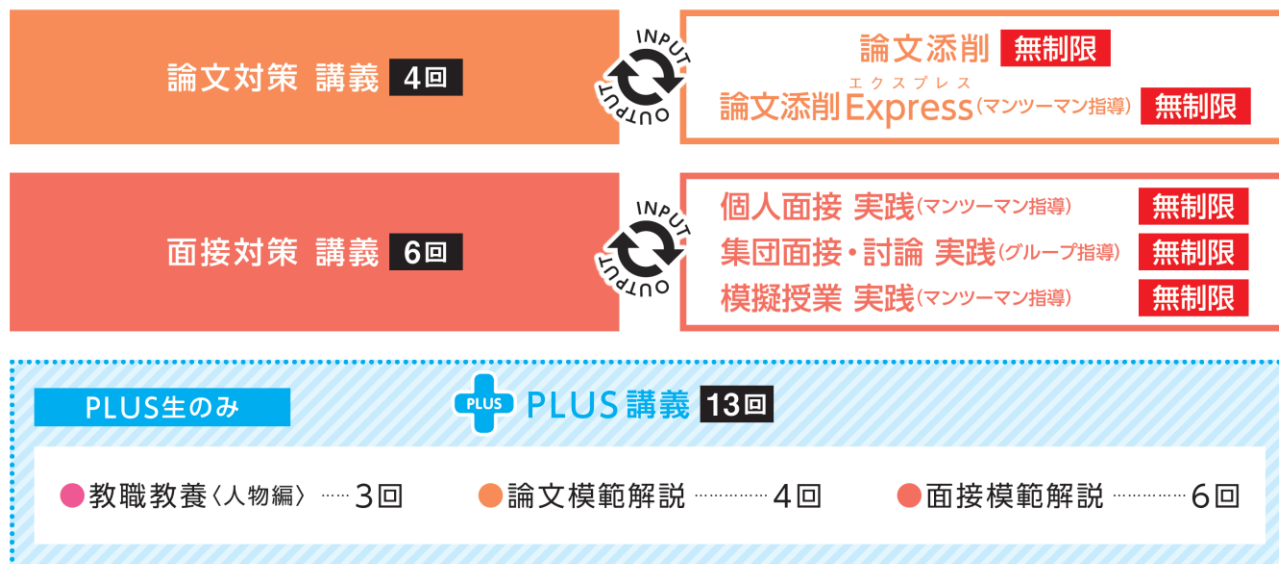
※＜復習のコツ＞

○復習は演習中心に。

○復習1・2は講義を受けた日に済ませる。

3. TAC の人物試験学習システム

Point : 講義＋丁寧な個別指導が受けられる



(1) カリキュラム概要

<論文対策>

○インプット

答案の書き方を習得する講義編



○アウトプット

書いて磨く実践編



<面接対策>

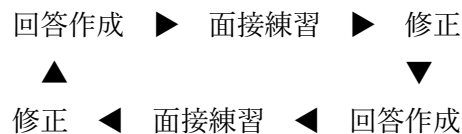
○インプット

面接対策の方法を学習する講義編



○アウトプット

面接力を鍛える実践編



(2) カリキュラム詳細

<論文対策>

○インプット

「答案の書き方を習得する講義編」

全4回の講義では論文の評価の観点と、観点ごとの執筆のポイントを解説します。

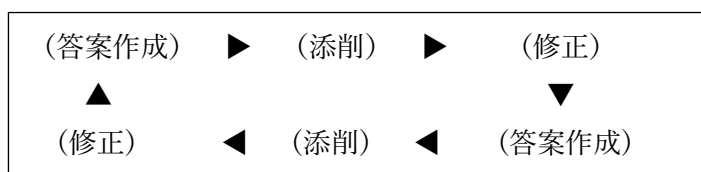
講義は、課題の把握、教員適性、表現力（文章力）など教員としての基礎的な能力が図られる観点の解説から始まり、論理性・指導力など、難易度の高い観点まで網羅します。まずは講義を受けて、論文の書き方の基本を習得しましょう。



○アウトプット

「書いて磨く実践編」

<実践編 基本サイクル>



<具体的な手順>

①答案作成

論文テキストには **8 テーマ 37 本の課題があります**。問われる課題は多岐にわたりますが、これだけあれば大丈夫。最終的には時間内に指定文字数の答案を仕上げるのが目標ですが、最初は、時間を計らず、字数制限も気にせず書いて構いません。 **まずは1本の論文を書き上げることが大切です**。

②添削

答案を作成したら **必ず添削指導を受けてください**。TAC 添削講師は、元校長・教員を中心に構成され、試験委員の経験者も少なくありません。自己評価ではなく、専門家のアドバイスを受けましょう。

③修正

アドバイスを受けた内容を **修正し答案を改善**しましょう。再度、改めて答案を作成し、添削指導を受けてください。

※ ①答案作成→②添削→③修正が1セット このサイクルを繰り返すことで実力が向上します。

<添削指導の種類>

添削指導は「**対面での講評**」と「**紙面での添削**」の2パターンから選ぶことができます。目的に合わせて活用してください。対面で講評を受け、そのあと添削に出すなど、組み合わせて利用することもできます。

○論文添削E X P

1回30分のマンツーマン指導を受けることができます。先生に答案を見せ、すぐにアドバイスが受けられるのでエクспレスです。先生との意見交換をしながら、論文の良い点や、弱点を探りたいときに有用です。各校での対面指導と、自宅で受けられるオンライン指導を用意しています。

○論文添削

提出から返却まで少し時間をいただきますが、紙面で添削を受けることができます。

答案を次のいずれかの方法でTACに提出します。

	提出方法
教室生	論文講義中に答案を書いて最後に提出
V B 生	TAC 各校受付に提出
通信生	郵送で提出

※教室生はTAC各校受付でも提出できます

答案は添削・講評・観点別評価が行われ、WSで返却されます。

評価は「3・2・1」の3段階（3は合格レベル、2はボーダーライン、1は課題が多い）

<論文対策のコツ>

①早めに取り掛かりよう

論文は実力が向上するのに時間のかかる科目です。苦手とする人は多いですが、後回しにはしないでください。初めて教採の論文に挑戦する方でも基本講義 教育原理の第1回～第3回まで受講すれば、教育論・教育課程論・学習指導要領など、教育の基本知識はインプットされ、論文に着手できるはずです。

②添削は一定のペースを作ろう

ひと月に1枚、2週間に1枚など、答案を書くペースを決めましょう。1度厳しい評価を受けたとしても諦めてはいけません。コンスタントに答案を書き、添削を受け続けることが上達の条件です。TACには50名以上の添削講師が在籍しています。様々な採点者からの評価を受けることで視野も広がっていくはずで

③書いた枚数ではなく質を大切にしよう

答案を書く練習は必須ですが、たくさん書けばよいということではありません。添削で指摘された内容を咀嚼し、改善することが大切です。改善が済んだ答案は、再度添削を受けて、さらにレベルを上げていきましょう。

④テーマを絞って練習しよう

試験ではどのようなテーマが問われるかわからないという不安から、手当たり次第に異なるテーマに手を出してしまう方がいます。幅広いテーマに対応できるようになるに越したことはありませんが、まずは1テーマ、完成度の高い答案を書くことを目指しましょう。テーマが違って、解決策の根幹が共通していたり、応用できる表現・知識があったりすることに気が付くはずで

⑤書けることは話すことができる

論文も面接も、教育や学校に関する自分の意見を表現するという点は共通です。文章にするために、思考を整理し、言葉と表現を洗練しておけば、それを話すことは比較的容易なはずで

※追加 <論文が苦手な方向けのお助け講義>

全4回の講義だけでは不安がある方は、「PLUS 講義（論文模範解説）」を用意しています。テキストに収載されている8テーマ全37課題について、模範的な答案のパターンや高評価につながるキーワードを紹介していきます。論文に苦手意識のある方や、とにかく短期間で合格答案の具体的なイメージをつかみたい方にもお勧めです。

TAC の論文対策カリキュラムのまとめ

必修科目		
<速修・人物本科生>	<養護ゼミ本科生>	<教職経験者本科生>
講義編 論文対策 (全 4 回)	養護教諭向け講義 論文対策 (全 2 回)	設定なし
※PLUS 講義		
論文模範解説 (全 4 回)	養護ゼミ本科生 設定なし	教職経験者本科生 設定なし
※PLUS 講義は追加申し込みが必要です。		

※速修本科生・人物本科生の論文対策では、**全校種・全自治体共通**の論文の基本を学習できます。

※養護ゼミ本科生の論文対策では**養護教諭に特化した**論文の書き方を学習できます。

※教職経験者本科生は面接特化型コースのため論文対策はありません。

⇒論文の対策を希望する方は、別途お申し込みが必要です。(人物本科生と共通の論文対策を受講します。)

※速習本科生・人物本科生・養護ゼミ本科生の方は、論文添削 EXP、論文添削のサービスを回数無制限でご利用できます。

※追加情報

「県別対策」受講者限定の特典あり（選択科目 全 18 エリア対応）

県別対策テキストに掲載の論文課題や志願書・指導案についても、添削サービスを受けられます。

＜面接対策＞

○インプット

「面接対策の方法を学習する講義編」

面接対策講義は、「基本編」「個人面接編」「集団面接討論編」「模擬授業編」の 4 分野に分かれていて、その中の「個人面接編」は、さらに「一般質問」「教育質問」「場面指導」に区分されています。

教採の面接形式ごとに評価のポイントや対策の注意点を学ぶことができますので、まずはここからスタートしましょう。

＜特別な面接対策講義（教員経験者・養護教諭の志望者向け）＞

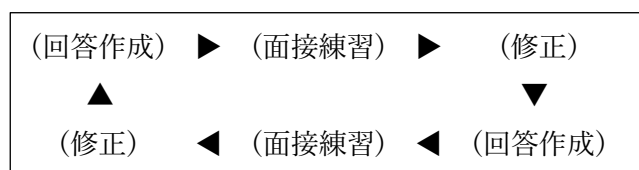
教員経験者向けには、現場経験をいかに面接で PR するかに軸足を置いた**経験者向けの面接講義**も用意しています。

また、仕事内容が大きく異なる**養護教諭志望者向けにも、専用の面接講義**を用意しています。

○アウトプット

「面接力を鍛える実践編」

＜ 実践編 基本サイクル ＞



＜具体的な手順＞

①面接回答の作成

講義で基本的な対策方法を理解したら、次は、想定質問に対する面接回答を作ります。面接テキストに掲載されている頻出質問例を参考に回答を作りましょう。また、例年 5 月から、最新の復元シートをWSで公開しますのでそちらも参考にしてください。

※（アドバイス 1）

「ぶっつけ本番でなんとかなる」という考えは捨ててください。本番までに「想定にない質問はない」というレベルまで準備をすることが大切です。

②面接練習

回答づくりが終わったら、実践編を予約しましょう。校舎とオンラインから選んでください。練習は 1 回 30 分で、先生がマンツーマンで対応してくれます。練習後にはアドバイスがありますので、自分の面接の評価を確認してください。

③改善点を修正

練習後は、面接の内容を振り返りながら、受けたアドバイスをもとに回答の改善をしましょう。初対面の面接官に、短時間で自分の考えやよさを理解してもらうのは簡単ではありません。相手に刺さる言葉を探していきましょう。

※ ①回答作成→②面接練習→③修正 このサイクルを繰り返すことで面接力が向上します。

※（アドバイス 2）

面接練習で大切なのは、練習の回数ではなく改善・質の向上です。
TAC の本科生の面接練習の平均回数は 7～8 回。20 回、30 回と練習をされる方もいますが、この方法はあまりお勧めできません。大切なのは PDCA サイクルを作って計画的に練習をすることと、講師のアドバイスをもとに回答の質を高めることです。

TAC の面接対策カリキュラムのまとめ

必修科目＜講義編＞		
＜速修・人物本科生＞	＜養護ゼミ本科生＞	＜教職経験者本科生＞
講義編 面接対策 (全 6 回)	養護教諭向け講義 (全 6 回)	教職経験者向け講義 (全 10 回)

※PLUS 講義		
＜速修・人物本科生＞	＜養護ゼミ本科生＞	＜教職経験者本科生＞
論文模範解説 (全 4 回)	設定なし	面接模範解説 6 回 オンラインサロン 5 回
※PLUS 講義は追加申し込みが必要です		

各種本科生共通

必修科目＜実践編＞	(回数無制限)
○個人面接 ○集団面接・討論 ○模擬授業 ○お悩み相談	

※追加情報①

「県別対策」受講者限定の特典あり（選択科目 全 18 エリア対応）

県別対策テキストに掲載の論文課題や志願書・指導案についても、添削サービスを受けられます。

※追加情報②

「担任制サポート制度」（別途申し込みが必要です）

県別対策に志望自治体がない方は、「担任制サポートパック」を申し込むことで、志願書や授業案の添削指導を受けることができます。担任の高橋先生による個別面談や試験に対する動画配信サービスを利用することもできます。

4. 一般教養・専門教養・県別対策も選べる

★一般教養 入門・小学校全科 入門(基礎学力対策) 講義 22回

P12

●国語・言語	2回	●政治・経済	5回	●理科入門	5回
●歴史・地理	4回	●算数・数学	4回	●英語	2回

★一般教養 講義 34回

P14

●オリエンテーション	1回	●社会科学	16回
●人文科学	4回	●自然科学	13回

★大阪エリア 思考力・判断力 講義 & 演習 13回

P14

●オリエンテーション	1回	●数的処理	9回	●文章理解	3回
------------	----	-------	----	-------	----

※大阪エリア(大阪府・大阪市・堺市・豊能地区)は、他自治体の教員採用試験における一般教養とは内容が異なるため、TACでは別途「大阪エリア 思考力・判断力対策(全13回)」をご用意しております。

★専門教養 演習

P14

★小学校全科	18回	★中高保体	11回
★中高国語	17回	★中高英語	17回
★中高社会	17回	★特別支援	13回
★中高数学	16回	★養護教諭	13回
★中高理科	17回	★栄養教諭	10回

★県別対策 講義

P15

★北海道エリア 北海道・札幌市	5回	★名古屋市	5回
★宮城エリア 宮城県・仙台市	5回	★三重県	5回
★茨城県	5回	★京都府	5回
★埼玉エリア 埼玉県・さいたま市	5回	★京都市	5回
★千葉エリア 千葉県・千葉市	5回	★大阪エリア 大阪府・大阪市・堺市・豊能地区	5回
★東京都	5回	★兵庫県	6回
★神奈川県・相模原市	5回	★神戸市	6回
★横浜市・川崎市	5回	★広島エリア 広島県・広島市	5回
★愛知県	5回	★福岡エリア 福岡県・福岡市・北九州市	5回

5. 万全な対策をしたい人にはオプション講座

- 『生徒指導提要完全マスター講座』
- 『教職教養過去問 100 選』
- 『専門教養集中ゼミ』
- 『自治体別論文特訓ゼミ』
- 『鴨田先生の冬期面接ゼミ』
- 『面接票・志願書ゼミ』
- 『場面指導・事例解説ゼミ』
- 『教育施策・教育課題ゼミ』

※近日リリース予定

- 『今年出る教育時事』
- 『人物対策特訓編』
- 『県別やまかけ講座（東京都）』
- 『学習指導要領完全マスター講座』 などなど

※今後も多種多様なオプション講座を続々リリースする予定です。

※本科生は半額で受講できます。

※詳しくは教員講座ホームページをご覧ください。

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kyoin.html

6. 学習についてのアドバイス

＜学習する順番について＞

- ①教職教養基本講義&演習
- ②論文対策&面接対策基本講義
- ③人物実践編
- ④県別対策
- ⑤一般教養
- ⑥専門教養

＜イメージ＞

①⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒

$$\textcircled{2} \Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$$

③ $\Rightarrow\Rightarrow\Rightarrow\Rightarrow\Rightarrow\Rightarrow\Rightarrow$

④⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒

⑤⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒

(6) ⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒

<POINT>

- ◆ まずは①からスタート（インプットとアウトプットはセットです！）
- ◆ 教職教養が何となく見えてきたら、②を開始（なるべく早く）
- ◆ ②が終わったら③で実践訓練
- ◆ ④は、①と②が終わった頃から始めるとちょうどいい
- ◆ ⑤、⑥は別ラインなので、①～④と並行して学習。（スタートは早い方がいい）

Q. 1 <<独学か予備校か。選ぶ基準は？>>

A. 『合格可能性をどこまで高めたいか？』『どこまでリスクを取れるか？』

予備校を利用すると、

<筆記試験>

- 学習範囲を絞り込むことができる。
- さらにメリハリの利いた効率的な学習をすることができる。
- 傾向分析した結果や最新の情報が手に入る。

<人物試験>

- 好ましい回答の方向性を知ることができる。
- 好ましくない回答を避けることができる。
- 実践練習が積める。

⇒予備校は合格を保証するものではないが、利用することで合格可能性は飛躍的に上がる。

Q. 2 <<本番までに間に合うか？>>

A. 『間に合います。』

(例)「速習本科生」(全 34 回)

- ・教職教養基本講義
2 時間半×24 回(原理 8 回、法規 8 回、心理 6 回、時事 2 回) + 各回確認テスト(各回 30～40 分)
- ・論文対策 4 回、面接対策 6 回

⇒1 日 3 時間×34 日でインプット可能。あとは実践練習あるのみ！